## 在宅生活改善調査 調査要領

### 1 ご回答にあたって

- ・本調査票は、<u>横須賀市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能</u> 型居宅介護事業所、介護予防支援事業所(地域包括支援センター)を対象に送付しております。
- ・ご回答いただいた内容を公表する際は、統計データとして取り扱います。個人や事業所が特定される形で公 表することはございません。

### 2 本調査の回答者

「事業者票」については、管理者の方にご回答をお願いしております。

「利用者票」については、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております(非常勤の方も含みます)。

### 3 調査票のご回答方法

この度お送りしたアンケート調査では、以下の2種類の調査票が同封されています。

同様の調査票を、エクセルの様式で、介護情報サービスかながわの一斉メールに記載の URL からダウンロードしていただけます。回答にはそちらのエクセル調査票をご利用ください。(今回お送りした紙の調査票は、確認用のサンプルとしてご利用ください)

ただし、メールでのご回答が難しい場合は、お送りした紙の調査票に直接記入し、FAX等でご回答いただいてもかまいません。利用者票の枚数が足りない場合は、恐れ入りますがコピー等でご対応ください。

### 【事業所票(A4 1枚(両面))】

○ 各事業所の、**管理者の方**を対象とした調査票です。管理者の方にご回答をお願いします。

### 【利用者票(A3 3枚(両面))】

- 各事業所の、<u>ケアマネジャー全員</u>を対象とした調査票です。所属のケアマネジャー全員にご回答をお願いします。
- 各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「(自宅等にお住まいの方で)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」および「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」について、次ページのフローにしたがって対象者を抽出し、ご回答ください。
- 対象となる利用者が少ない場合、複数のケアマネジャーの回答を1つの利用者票にまとめていただいて構いません。対象者の人数が多い等、集約するのが難しい場合は、ケアマネジャーごとにご提出ください。
- 事業所のすべてのケアマネジャーのご担当の利用者に、対象となる方が一人もいない場合は、メール本文または事業所票の任意の場所に「ケアマネジャー●人の担当利用者について、利用者票の対象者なし」とご記載ください。その際、利用者票の提出は不要です。

### 4 調査票の提出方法

- ・管理者の方は、回答済みの調査票ファイル全てを裏面メールアドレス宛または FAX 番号宛に、 **令和7年 12月 19日 (金)までに**ご提出いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・ケアマネジャーの回答率を集計するため、利用者票についても管理者の方がまとめてご提出ください。なお、 ご提出いただいたすべての利用者票の「ケアマネジャー●人分」の欄を合計したら、貴事業所に所属のケア マネジャーの総数と一致することをご確認ください。

# nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀市民生局福祉こども部介護保険課 総務係(分館2階)

電話: 046-822-8308 (直通) FAX: 046-827-8845

### 6 「利用者票」の対象者の抽出方法

「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた<u>「(自宅等にお住まいの方で)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」および「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討する</u>ことを目的としています。

各ケアマネジャーの方は、<u>ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者を以下のフローにした</u> <u>がって抽出</u>し、「利用者票」の各設問にご回答ください。

<回答の対象となる要支援者・要介護者の抽出方法>

### 本調査は、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

### ステップ1

ご担当の利用者のうち、

- ① 自宅
- ② サービス付き高齢者向け住宅
- ③ 住宅型有料老人ホーム
- ④ 軽費老人ホーム

のいずれかにお住まいの要支援者・要介護者の人を選んでください

さらに、その中から、

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなって いる利用者」および

「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」

を、ケアマネジャーとしての判断に基づいて選んでください。

### ステップ 2

例えば、

- OADLの低下に伴い、頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問 介護の利用では対応が困難であり、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 の利用がより適切と思われる利用者
- ○<u>認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、</u> グループホームへの入居がより適切と思われる利用者

などのケースが該当します。

### ステップ 3

選ばれた利用者全員について、調査票の各設問にご回答ください。